

ロサンゼルスに国産AI衛星を輸送

■エミレーツ航空

エミレーツ航空の貨物部門、エミレーツ・スカイカーゴ(以下、スカイカーゴ)は13日、アラブ首長国連邦初の商用AI(人工知能)搭載地球観測衛星「Altair-1(アルタイル1)」を、B777F型機でドバイ(ドバイ・ワールド・セントラル=DWC)からロサンゼルスまで輸送したと発表した。今年10月に打ち上げる予定だ。

アルタイル1は、同国のオービットワ

ークスが開発・製造した。光学、赤外線、熱、電波の各センサーと、衛星上でデータを処理するAIを搭載し、環境監視や災害対応、海洋状況の把握などに活用する。計10基で構成する衛星群の初号機となる。

スカイカーゴの専門チームが輸送を一貫して管理し、厳格な環境・安全



「アルタイル1」の輸送に使用したコンテナとB777F型機

管理の下で運んだ。同部は今年、航空宇宙・先端エンジニアリング関連貨物6000トン超を輸送している。